

# 一般質問

## 今 利 一

〔市民連合〕

### 住み続けることのできる地域に

**問** 富良野市の人口は、平成12年から平成26年まで約10%減少した。この減少の一番の要因は、農村地帯といわれる山部・東山・東部地域の減少と考えられる。人口の減少、流失を食い止めるのは、この農村地帯の改善を図ることが至上命題であると考ええる。過疎債等を利用し、学校の跡地等を利用した福祉施設づくりをし、農村地帯で住み続けることのできる環境をつくるべきと思うが考え方を伺う。

**答** 各地域で地域住民を中心とした地域おこし団体や、NPO等により、地域活性化に向けた活動が取り組まれてきている。地域に居住する皆さんが主体となって、住み良い地域づくりや活性化に向けた取り組みを行うことが大切と考えている。市としては、地域の取り組みについて支援していく。遊休施設の利用に関しては、今後大きな課題

となる。地域との協力体制の状況づくりを行ってみたい。



布礼別小学校風景

### 信頼と絆がキーワード

**問** 布礼別中学校閉校に伴う通学区変更と今後について。

**答** 布礼別中学校閉校に伴う通学区の変更については、地域要望に沿った形で変更については問題がないことを確認、今後の学校運営の将来展望は「すべては子ども達のために」を軸に信頼と絆をキーワードとして、学校の再編にあたっては、時間をかけながら地域の要望・意見を十分に聞き、子ども達にとって最善の方策を進めていく。今後地域と十分話し合い学校運営、教育環境整備を進める。

## 総務文教(事務調査報告)

### ■墓地の維持管理について

近年、社会構造の急激な変化により、家族が墓を守り子孫へ継承していくといった観念も大きく変化し、墓地の形態に対する個人のニーズも多様化している現状にあります。

本市の墓地は、富良野、山部、中五区、東山、島ノ下、布礼別、麓郷、老節布の8か所です。墓地区画や使用権者は、墓地使用許可台帳によつて管理されています。8か所ある墓地の区画合計は、平成25年12月現在では、5272区画であり、このうち4133区画が使用されています。しかし、一部の区画で使用権者が居所不明となり、管理が滞り、お参りする人が途絶えた墓もあり、その数は、富良野、布礼別、中五区の合計で113件となっています。委員会として、台帳整備の状況と、使用権者が居所不明となった区画の対処方法や、今後そのような区画

を出さないための防止策など3点について意見を付しました。

1点目、墓地が安全で安心して使用できるよう、環境整備に配慮することが大切です。また、個々の区画で管理が行き届かない墓がないように墓地全体の管理に努めることが重要であり、必要に応じ台帳の見直しを行い使用権者と定期的な連絡をとり居所不明防止策が必要です。

2点目、墓地の区画整備を行う場合、使用者のニーズの変化に可能な範囲で対応し墓地の在り方について検討も必要です。

3点目、墓が適切に維持管理されるよう啓発に努め、使用権者による管理が困難な場合、変更等が必要で、永続的に管理されることを望みます。

## 委員会の動き

滞り、お参りする人が途絶えた墓もあり、その数は、富良野、布礼別、中五区の合計で113件となっています。委員会として、台帳整備の状況と、使用権者が居所不明となった区画の対処方法や、今後そのような区画



富良野市内墓地